

環境省による「体験の機会の場」と連携した 教職員など環境教育リーダー養成研修を実施

2024年11月30日（土）、群馬県前橋市粕川町中之沢にある当社事業所「サンデンフォレスト」にて、環境省主催による、教職員ほか、行政、企業、NPO/NGO、大学生等、環境教育や体験活動、地域づくりに関心のある方を対象にした研修会を行います。

サンデンフォレストは、2014年より、環境教育等促進法に基づいた「体験の機会の場」の認定を受けており、環境省と連携し、本研修を開催いたします。



今回の研修は、学校と外部機関が連携し、環境教育を推進するリーダーとなる人材を養成することを目的としています。ガイドウォークの体験、講師による講義、参加者同士のグループワークを通じて、学校が外部のフィールドを活用する方法、そしてそこに至る課題について学びを深めます。

▼研修会の概要

- ・日時：2024年11月30日（土） 09:50～16:00
- ・会場：サンデンフォレスト 森の教室（群馬県前橋市粕川町中之沢 7）
- ・講師：建元 喜寿氏（筑波大学附属坂戸高等学校 主幹教諭）、柴崎 薫、福田 博一（サンデン(株)施設管理セクション E C O S チーム）
- ・主催：環境省／協力：文部科学省、「体験の機会の場」研究機構
- ・運営協力：サンデン株式会社

▼主なスケジュール

- 10:00 開講・講師挨拶・サンデンフォレストの紹介、参加者同士の自己紹介
- 11:00 【活動】ガイドウォークの体験
- 13:15 【講義】「学校とつながるためのワンポイントアドバイス」（建元氏）
・学校における外部フィールドの活用事例とその課題についてなど
- 14:00 【活動】グループワーク「学校に提案する企画をデザインしよう」
- 15:20 【活動】各グループ企画書の発表・研修全体のふりかえり
- 16:00 閉講

※当日の取材もお受けしています。

詳しくは、以下、環境省ホームページもご確認ください。

https://www.env.go.jp/press/press_03901.html

当社は、「グローバルな企業市民として地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し安全で美しい地球を次の世代の人々に引き継ぐために、企業活動のあらゆる面で環境の保全に配慮して行動する。」という環境理念のもと、こうした活動を通じて、カーボンニュートラル（温室効果ガス排出ゼロ）やネイチャーポジティブ（生物多様性の回復）の実現に向けた活動を推進してまいります。

«本件に対するお問い合わせ»

サンデン株式会社 総務本部 グローバル総務セクション（広報） sdhd.prcsr.jp@g-sanden.com

«取材についてのお問合せ»

サンデン(株)施設管理セクション ECOS（イコス）柴崎（080-5444-1967） sandenforest.jp@g-sanden.com